

YEG 青年部だより

2021年
(令和3年)

5月号

全文は
こちらから



会長就任挨拶



令和3年度 砺波商工会議所青年部

会長 富田 哲夫

令和3年度会長を仰せつかりました富田哲夫です。日頃より、青年部の活動にご理解ご協力を賜りありがとうございます。

昨年度から続く新型コロナウイルス感染症の収束が未だ見えない中で青年部としては、その時々状況の素早く察知し、できる限りの活動を進めていきたいと考えております。

今年度のスローガンは、「以和為貴(わをもつてとうとしとなす)」。

様々な意見を持った仲間が集い、お互いを理解した上で議論を深めて調和していく。そしてより良い砺波商工会議所青年部を作り上げ、この時代を突き進んでいきます。1年間よろしく願っています。

令和3年度 会長 富田哲夫

【令和3年度スローガン】

以和為貴

わをもつてとうとしとなす

定時総会

4月5日(月)和風会館ふかまつにおいて第56回定時総会を執り行いました。今年も新型コロナウイルス感染症対策を万全に行い、多くの会員が出席のもと開催しました。令和3年度の事業計画が承認され、新スローガン「以和為貴(わをもつてとうとしとなす)」のもと、新年度がスタートしました。



(続きは全文へ)

記者 熊野皓太

北陸信越ブロック臨時総会

去る3月12日(金)にチューリップ四季彩館にて今年最初で最後となる対面での役員会・臨時総会・会長会議が行われました。設えを担当しました北陸信越ブロック商工会議所青年部連合会の佐藤専務理事に今回の会議の成果をお聞きしました。(続きは全文へ)



記者 清登達朗



連載 どんな人なかが知ってるの？
連 青年部会員紹介！
こんな活躍しています！

かっこいい父親のように

富田 哲夫(会長)
事業所…富田建築

親子3代続く大工の長男として母親の実家である高岡の病院で産まれ、砺波市新富町で育ったのが今回の記事の主役である富田哲夫会長である。幼少期から父親に連れられて現場や工場を出入りするような物作りに興味を持つ子供だったと富田会長は当時を振り返った。富田会長が大工を志したのは小学校の頃、夜高製作時に町内の人達から頼られる父親を見て「かっこいい」と思ったのがきっかけだ。ご存じの方も多いと思うが夜高製作では台を組んだり山車を組んだり大工の仕事が生かされる場面が数多くある。父親のような大工になりたいと夢を持った富田会長は高校の進学先に高岡工業高校建築科を受験、見事合格し入学を果たす事となる。(続きは全文へ)

昭和54年11月12日生まれ
好きな食べ物 ヒレカツ定食
好きな音楽 レッチリ・パピメタ
休日の過ごし方 ドライブ

「ありがとう」を大切に

中西 一夫(直前会長)
事業所…(株)三喜有
(食品スーパー・サキユ)

日本語で一番美しい言葉「ありがとう」。言った数と言われた数が幸せのバロメーターではないか。そのように語る中西一夫直前会長は南砺市福野町で生まれ育った。料理が好きでシェフになるのが憧れだったが、父の背中を見ていくうちに、家族、力を合わせて稼働を支えていかなければいけないという思いを幼きながらも抱くようになった。そんな中西直前会長は高岡の高校を卒業後、小杉にある専門学校、その後静岡の大学へと進路を進める。大学を卒業した後、北海道は帯広市のスーパーで3年間修業。25歳で砺波に帰り、自身の会社(株)三喜有で働くこととなる。様々な不安とプレッシャーに押しつぶされそうになりながらも32歳という若さで社長に就任した。

昭和56年1月22日生まれ
好きな食べ物 寿司・カレー
趣味 そば打ち・庭の草むしり
元は福光で魚屋 2代目

記者 荒木悠史



FACEBOOK



TONAMIYEGSNS

◀こちらをご覧ください▶



青年部だより

5月号

以和為貴

会長就任挨拶



令和3年度会長を仰せつかりました富田哲夫です。日頃より、青年部の活動にご理解、ご協力を賜りありがとうございます。昨年度から続く新型コロナウイルス感染症の収束が未だ見えな
い中で青年部としては、その時々状況を素早く察知し、できる限りの活動を進めていきたいと考えております。

私が青年部に入会して十四年が経ちます。これまで、青年部の活動において様々な経験をさせていただきましたが、一番の財産は活動を通じての仲間との繋がりであると感じます。今年度は、会員の皆さんが参加しやすい環境づくりに努め、会員相互の繋がりを一層強化したいと考えます。そしてその仲間から様々な刺激を受け、各事業所の発展に繋げていただきたいと考えています。

今年度のスローガンは「以和為貴（わをもつてとうとしとなす）」。様々な意見を持った仲間が集い、お互いを理解した上で議論を深めて調和していく。そして、より良い砺波商工会議所青年部を作り上げ、この時代を突き進んで行きます。1年間よろしく願いたします。

令和3年度 会長 富田哲夫

定時総会

4月5日（月）、和風会館ふかまつにおいて第56回定時総会を執り行いました。今年も新型コロナウイルス感染症対策を万全に行い、多くの会員が出席のもと開催しました。令和3年度の事業計画が承認され、新スローガン「以和為貴（わをもってとうとしとなす）」のもと、新年度がスタートしました。本年度も会員一同力を合わせて、地域に貢献できるよう努めてまいります。



【令和3年度役員紹介】

会長	富田哲夫	富田建築
直前会長	中西一夫	(株) 三喜有
専務理事	佐藤丈寛	(有) 佐藤鉄工所
筆頭副会長	天野修	(有) 天野餅店
副会長	佐藤里依子	Azure。
副会長	久保田晃克	リアルプランニング(株)
ニューチャレンジ総務委員長	熊野皓太	(有) くまの洗濯堂
絆委員長	石黒大輔	石黒キーコーナー
スキルアップ委員長	五島延貢	(株) ふたつわ食品
つなぐ事業委員長	菅野源心	(株) エスエス
会員資質向上室長	江成剛	(株) アークエナリー
会員親睦向上室長	辻昌裕	作庭 辻
理事	大野祐嗣	(有) 大八
理事	寺田雄大	(株) 寺田
理事	千田俊介	インテリア あゆみ
理事	吉田貴志	(有) やまと佛だん
理事	澤田佳澄	(株) 沢田花房
理事	渋谷康佑	(株) 五島書店
監事	大谷忠史	大谷工業(株)
監事	朝倉義晴	(有) 砺波飼料
顧問	潟沼秀憲	(有) 潟沼塗装店
顧問	本江択	(株) ライフサービス
商工会議所議員	天野修	(有) 天野餅店

記者 熊野皓太

北陸信越ブロック臨時総会

去る3月12日(金)にチューリップ四季彩館にて今年最初で最後となる対面での役員会・臨時総会・会長会議が行われました。設えを担当しました北陸信越ブロック商工会議所青年部連合会の佐藤専務理事に今回の会議の成果をお聞きしました。

今年は目に見えないものに左右され、やりたいことが今までのようにできない年度でありましたが、今回当初やりたいこととしていたことをやりきれた会議でした。やりきれなかったことは次年度の亀田、そして長野に紡いで行くよう引き続き協力していきます。

本年度は単なるブロック大会の主管であること以外に、ブロックにて委員会を新設し、各単会から出向者を募り、各単会での悩みごとの解決、また良い所を見つけ合う、そのようなブロックの利用を各単会に促して参りました。そんな連携と交流が3月12日は実を結んだ結果となりました。会長会議ではこのような状況下にも関わらず、令和2、3年度会長、そして日本出向者並びに熱意ある会員を含めた勇気ある92名が6人毎にグループとなり、令和3年度の背中を押そうと正に白熱した議論となりました。最後の発表の際には我先きにと手を上げる光景を見たときは、北陸信越ブロックが変わっていく瞬間を肌で感じました。潟沼会長はこれまでのブロック会長の誰よりも行動されて来ましたし、各単会の会長にも会いに行き情報を発信してきたと思います。

最初で最後の対面事業でありましたが、終わった今、やれる機会があればもっと北陸信越ブロックに貢献できたと思いましたが、潟沼会長が「これが終わりではなくスタートだ」と言われているようにその通りだと感じています。次年度の委員会も既に動き出そうとされていることが喜ばしい限りです。

その後の会長会議第2部で潟沼会長がブロック旗を持って入場する姿は一生忘れることはありません。砺波に皆さんをお呼びでできず申し訳ないと思し涙を流されていたあの時の顔とは違う本当にいい笑顔でした。



記者 清登達朗

連載

どんな人ながか知つとるけ？ 青年部会員紹介！

日々頑張っている、あこんこの
アンちゃん、ネエちゃん砺波で
こんな活躍しています！

かつこいい父親のように

富田 哲夫（会長） 事業所 富田建築

親子3代続く大工の長男として母親の実家である高岡の病院で生まれ、砺波市新富町で育ったのが今回の記事の主役である富田哲夫会長である。

幼少期から父親に連れられて現場や工場を出入りするような物づくりに興味を持つ子供だったと富田会長は当時を振り返った。富田会長が大工を志したのは小学校の頃、夜高製作時に町内の人たちから頼られる父親を見て「かつこいい」と思ったのがきっかけだ。ご存じの方も多いと思うが夜高製作では台を組んだり山車を組んだり大工の仕事が生かされる場面が数多くある。父親のような大工になりたいと夢を持った富田会長は高校の進学先に高岡工芸高校建築科を受験、見事合格し入学を果たす事となる。「成績は良くありませんでしたが大工になる情熱だけがありました」3年間の高校生活を終えた富田会長はさらに建築を学ぶため、名古屋にある東海工業専門学校へ進学し1年間の勉学に励み実家へ帰省、福野の親方の下で3年間の修行を終えたのち稼業である富田建築へ23歳で入社する事となる。入社と時を同じくして知り合った奥様と24歳で結婚。明るい性格に惹かれましたと恥ずかしそうに話してくれた顔が印象的だった。

富田会長27歳の時に商工会議所青年部との接点が生まれる。仕事関係の先輩からの勧誘で断ることが出来ずしぶしぶ入会を決意、さまざまな役職を歴任され入会から14年後の2021年、第56代砺波商工会議所青年部会長に就任する事が決定した。「今現在、砺波商工会議所青年部には数多くの職種の方が入会しておられる。しかし本当に深くまでどんな仕事をしているか、どのような商品を取り扱っているか知っているのか。もっとお互いのことを知る1年に行きたい」富田会長はそう抱負を語ってくれた。

今、長男は富田会長と同じく高岡工芸高校建築科に進学をし、建築を学んでいる。「どんな職業に就いてもいいけど、大工になってくれたら嬉しいなって気持ちには多少あるかな」富田会長はかつこいい父親だ。自分が憧れた父のように。 記者 渋谷康佑



メモ

昭和54年11月12日生まれ

好きな食べ物 ヒレカツ定食

好きな音楽 レッチリ・ベビメタ

休日の過ごし方 ドライブ

連載 青年部会員紹介！

日々頑張っている、あこんこの
アンちゃん、ネエちゃん砺波で
こんな活躍しています！

「ありがとう」を大切に

中西 一夫（直前会長）
事業所 (株)三喜有（食品スーパーサンキュー）

日本語で一番美しい言葉「ありがとう」。言った数と言われた数が幸せのバロメータではないか。そのように語る中西一夫会長は南砺市福野町で生まれ育った。料理が好きでシェフになるのが憧れだったが、父の背中を見ていくうちに、家族、力を合わせて稼業を支えていかなければいけないという思いを幼きながらも抱くようになった。そんな中西会長は高岡の高校を卒業後、小杉にある専門学校、その後静岡の大学へと進路を進める。大学を卒業した後、北海道は帯広市のスーパーで3年間修業。25歳で砺波に帰り、自身の会社（株）三喜有で働くこととなる。様々な不安とプレッシャーに押しつぶされそうになりながらも32歳という若さで社長に就任した。当時のプレッシャーは半端ではなかったと振り返り話した。

中西会長は、スーパーの名前にもあるように「ありがとう」と感謝することを大切に仕事をしている。命あつたものに感謝し、その命を美味しいうちにお客様に届けること、思いやりの心を持って相手と接し人と向き合うこと。その胸の中にはいつも「サンキュー」がある。そんな中西会長が社長を務めるスーパーサンキューには今日も多くのお客さんが足を運んでいるに違いない。

記者 荒木悠史



メモ

福野中、ソフトテニス部

小学生にテニスを教えていた

趣味、そば打ち、庭の草むし

好物 寿司 カレー

家族 奥さん 息子さん2人 8歳と4歳

25歳で結婚

元は福光で魚屋 福野に姉妹店ピステ 2代目



青年部だより

6月号

全文は
こちらから



TSL定期総会

4月12日(月) 砺波商工会議所において、第3回砺波商工会議所青年部 庄川町商工会青年部連絡協議会定期総会を開催しました。今年は新型コロナウイルス感染症対策を万全に行い、無事執り行うことができました。定時総会において、令和3年度共同代表に砺波商工会議所青年部より富田哲夫君、庄川町商工会青年部より高田治生君が選任されました。



今年度は4月にチューリップ事業(アート製作)を実施しており、9月には親睦事業を計画しております。今後も両会が力を合わせて地域に貢献できるように努めてまいります
(続きは全文へ)
記者 有澤健吾

TSLチューリップ事業

今年度のチューリップ事業は、2021となみチューリップフェア期間中に砺波市美術館前広場にて砺波商工会議所青年部 庄川町商工会青年部連絡協議会(以下「TSL」)で行いました。「未来へつなごう」と題し2つのアートを展示しました。「フラワーアート」はテーマ「つなぐ」のもと、出町中学校美術部にデザイン提供いただき、チューリップの花首で描きました。「モザイクアート」は市内の小学3・4年生約800名に将来の夢を描いてもらい、その全てをモザイクアートとしてはめ込み完成させました。隣にはミニハーバリウムタワーを設置し、来場された多くの皆さまに見ていただく事ができました。チューリップ事業を担当した菅野委員長に成果をお聞きしました。事前準備から展示開催までの2日間は天候もよく嬉しい反面、生花で作るアートは気温が上がる事を嫌う事もあり、少しでもきれいなままで保ちたく、私たちは複雑な心境でした。

(続きは全文へ)

記者 吉田快



道は自分で切り拓く

【載】
連 青年部会員紹介!

どんな人々が知つとるの?
日々頑張っている、あこんこの
アンちゃん、ネエちゃん、砺波で
こんな活躍しています!

佐藤 文寛(専務理事)

事業所 銚子佐藤鉄工所

今日も大きなリュックサックを背負って青年部室にやって来た。会議の前は時間があればお風呂に入ってくるという。仕事に精を出し、休んでいるのも束の間、夜は会議が多い。疲れていたっていつも物腰柔らかな話し方でみんなを包み込んでくれる。佐藤文寛、38歳。
異色の経歴の持ち主」と言っても良いだろう。昭和58年1月29日、鉄工所の三男として砺波市に生を享ける。地元の高校を卒業後、親元を離れ大学へと進路を進める。
(続きは全文へ) 記者 熊野皓太

地域文化との繋がり

天野 修(筆頭副会長)

事業所 銚子天野餅店

(銚子天野餅店5代目にあたる、天野修さんは幼少期より、地域の祭事の際などに自分のお店に注文が入り、商品を納品し、そして祭事の主役はその商品がなるのを間近でみてきたとインタビューに応じて頂きました。その際、幼いながら、地域への繋がり、祭事での主役に店の商品がなる、みんなが喜んでくれる、その事に誇らしい気持ちになったそうです。福光高校を卒業後単身、大阪のゲーム会社に就職、苦しいながらも自分のやりたい仕事に就いていましたが、ある時、生産者である自分と消費者であるお客様との距離に物足りなさを感じ、心機一転、製菓学校に入學しました。
(続きは全文へ) 記者 清登達朗

昭和55年3月3日生まれ
好きな食べ物 漬物(浅漬け)
家族構成 父、母、妻
大阪にて一時期ゲーム制作会社に勤める

昭和58年1月29日生まれ
趣味 奥様とデート
行きつけのお店 キャッツアイ
好きな女優 多部未華子



青年部だより 6月号

TSL定期総会

4月12日（月）砺波商工会議所において、第3回砺波商工会議所青年部 庄川町商工会青年部連絡協議会定期総会を開催しました。今年は新型コロナウイルス感染症対策を万全に行い、無事執り行うことができました。定時総会において、令和3年度共同代表に砺波商工会議所青年部より富田哲夫君、庄川町商工会青年部より高田治生君が選任されました。

今年度は4月にチューリップ事業（アート製作）を実施しており、9月には親睦事業を計画しております。今後も両会が力を合わせて地域に貢献できるように努めてまいります。

富田共同代表に今年度のTSLについての意気込みを聞いてみました。「砺波商工会議所青年部と庄川町商工会青年部がもっとお互いのことを知ること、理解を深めることが大事だ。お互いの良いところを出し合って、楽しい事業が出来ればいいと思う。」

一年間を通して楽しく活動できるTSLを築いていきます。両共同代表の想いはひとつになり、令和3年度がスタートしました。

記者 有澤健吾



TSLチューリップ事業

今年度のチューリップ事業は、2021となりチューリップフェア期間中に砺波市美術館前広場にて砺波商工会議所青年部 庄川町商工会青年部連絡協議会(以下TSC)で行いました。

「未来へつなぐ」と題し2つのアートを展示しました。「フラワーアート」はテーマ「つなぐ」のもと、出町中学校美術部にデザイン提供いただき、チューリップの花首で描きました。「モザイクアート」は市内の小学3・4年生約800名に将来の夢を描いてもらい、その全てをモザイクアートとしてはめ込み完成させました。隣にはミニハーバリウムタワーを設置し、来場された多くの皆さまに見ていただく事ができました。

チューリップ事業を担当した菅野委員長に成果をお聞きしました。

事前準備から展示開催までの期間は天候もよく嬉しい反面、生花で作るアートは気温が上がる事を嫌う事もあり、少しでもきれいなままで保ちたく、私たちは複雑な心境でした。しかしメンバーの毎朝の水やり等の甲斐もあり、当初の想定よりも長く展示することができました。

そして、モザイクアートでは小学生に将来の夢を画用紙に表現してもらいました。文字や絵など色々な表現や発想力があり見ていて楽しいものになりました。モザイクアートは初めての試みだったので幅1.5m×高さ1.8mの作品を作り上げるのは大変でした。

小・中学生、砺波市、TSLがつながり完成したこのアートは、これから大人へと成長する子供たちの将来の夢への懸け橋となればと思います。

記者 吉田快



連載

どんな人ながか知つとるけ？ 青年部会員紹介！

日々頑張っている、あこんこの
アンちゃん、ネエちゃん、砺波で
こんな活躍しています！

「道は自分で切り拓く」

佐藤丈寛（専務理事）

事業所（有） 佐藤鉄工所

今日も大きなリュックサックを背負って青年部室にやって来た。会議の前は時間があればお風呂に入ってくるという。仕事に精を出し、休んでいるのも束の間、夜は会議が多い。疲れていたっていつも物腰柔らかな話し方でみんなを包み込んでくれる。

佐藤丈寛、38歳。

「異色の経歴の持ち主」と言っても良いだろう。

昭和58年1月29日、鉄工所の三男として砺波市に生を享ける。地元の高校を卒業後、親元を離れ大学へと進路を進める。当時数学を専攻していた。大学を卒業した後、東京にて5年半、銀行のシステムの仕事に従事。「品川に住んだたんやよ、見た目と違うやろ」と少し恥ずかしそうに話してくれた。

27歳のときだった。父の「そろそろ仕事やめようかな」の言葉をきっかけに「砺波に帰ろう」と決断する。デスクワークから一転、フィジカルワークに。修業をしてきたわけではない。右も左もわからないままの入所だった。自分で決めた道、すべては「できる」と信じて。

帰ってきて間もない中、ステンレスの配管溶接に挑戦することにした。当時父親しか出来なかった技術だが、溶接する部品は大量にあった。見様見真似で打ち込む。あくまでも自分流だ。當時を懐かしむように手の動作で教えてくれたのが印象的だった。試行錯誤を繰り返し、これをなんとかできるようになった。

“道は自分で切り拓く”

この言葉が佐藤専務は似合う。

最後に、本人に尋ねた。鉄工所に戻るとき父から実際何か声をかけられたかと。

「別がない。報われたいと思わない。」

これからも自分で道を切り拓いていく。

記者 熊野皓太



メモ

趣味…奥様とデート

行きつけのお店…キャッツアイ

好きな女優…多部未華子

連載 どんな人ながか知つとるけ？
青年部会員紹介！

日々頑張っている、あこんこの
アンちゃん、ネエちゃん砺波で
こんな活躍しています！

「地域文化との繋がり」

天野 修（筆頭副会長）

事業所 (有)天野餅店



（有）天野餅店5代目にあたる、天野修さんは幼少期より、地域の祭事の際などに自分のお店に注文が入り、商品を納品し、そして祭事の主役にその商品がなるのを間近でみてきたとインタビューに答えて頂きました。その際、幼いながら、地域への繋がり、祭事での主役に店の商品がなる、みんなが喜んでくれる、その事に誇らしい気持ちになったそうです。

福光高校を卒業後単身、大阪のゲーム会社に就職、苦しいながらも自分のやりたい仕事に就いていましたが、ある時、生産者である自分と消費者であるお客様との距離に物足りなさを感じ、心機一転、製菓学校に入学しました。地域コミュニティに携わることの誇りを幼少期から感じてきた天野修さんは無事、製菓学校を卒業し、現在（有）天野餅店の5代目になりました。今後の目標は地域文化の保存と新しい文化創造に貢献したいとの事です。今後益々地域との繋がりを大切にし、商売と文化の担い手としてご活躍されると筆者は感じました。

記者 清登達朗

メモ

出身学校

出町中↓福光高校↓京都大和学園製菓学校

好きな食べ物

漬物（浅漬け）

家族

父、母、妻

大阪にて一時期ゲーム制作会社に勤める

YEG 青年部だより

2021年
(令和3年)

7月号

全文は
こちらから



こちらも
ご覧ください!



FACEBOOK



TONAMIYEGSNS

夜高の燈を取り戻すYouTube番組 「よたかのじかん」開設!

今年度の夜高事業は、YouTube番組「よたかのじかん」を制作、配信します。伝統文化を継承し、夜高の燈を取り戻す子どもたちに「よたかのじかん」の魅力を感じてもらい、興味関心を持ってもらいたいと企画しました。

今年の夜高まつりは中止となりましたが、伝統を守っていく気概で制作していきます。ぜひご覧ください。

(全文のQRコードへ続く)

ニューチャレンジ総務委員長 熊野 皓太



富山県商工会議所青年部連合会 定時総会



富山県連「第45回定時総会」が、5月29日(土)、クロスベイ新湊にてYouTubeライブ配信と連動して開催されました。令和3年度会長には、射水YEGの南貴浩君が選出され、スローガン「激動時代へ変化には変化をもつて飛躍せよ!」YEG ambitionの下、新年度がスタートいたしました。単会の枠を超えて結束を高めていきたいと思

います。
記者 荒木 悠史

ようこそ青年部へ!

新入会員紹介



氏 名 成瀬 寛美
(なるせ ひろみ)
事業所名 キャッツアイ
所在地 砺波市表町8-1
電話番号 0763-32-2688

砺波駅前でスナックを営んでおります。皆さま、お気軽にお越しください。少しでも青年部の活動に参加し、協力していきたいと思

います。
記者 老松 伸洋

北陸信越ブロック商工会議所 青年部連合会 定時総会



5月22日(土)北陸信越ブロック商工会議所青年部連合会、令和2年度第5回役員会、令和3年度第1回役員会、定時総会が開催されました。

(全文のQRコードへ続く)

記者 佐藤 文寛

「ご縁を大切に」

久保田 晃克(副会長)
事業所…リアルプランニング株

『リアルプランニング株式会社』は今回紹介する、久保田晃克さんが代表を務めている不動産会社である。

高校卒業後いくつかの職業を経験し、21歳の時に住宅メーカー会社へ就職。サラリーマンとして勤めながらも、40歳までには独立開業したいと考え、事業を起したという。(全文のQRコードへ続く)

記者 吉田 快

「挑戦」

佐藤 里依子(副会長)
事業所…Azule.

6月中旬にリアルオープンした「となみ野庄川荘」旧 越中庄川荘にて7月からエステ事業を拡大しようと新たに挑戦している方が今回の記事の主役である佐藤里依子副会長である。

佐藤副会長は、1980年に鷹栖で生まれ、高校卒業後にエステ関係の仕事に就いた。エステの仕事は、自分の裁量でお客様に向き合えるという。(全文のQRコードへ続く)

昭和55年5月31日生まれ
中高の部活 バレーボール部
趣味 猫と遊ぶ、洗濯機の掃除
好きな食べ物 目玉焼き
家族構成 夫・子供3人(21歳、高校1年、小学6年)猫1匹

連載 青年部会員紹介!

どんな人なのか知ってる? 日々頑張っている、あこんこのアンちゃん、ネエちゃん砺波でこんな活躍しています!

昭和52年9月19日生まれ
趣味 旅行・車・グルメ
最近の悩み 白髪が増えてきた事
家族構成 妻・子供2人
(大学2年、高校1年)



青年部だより

7月号

夜高の燈を取り戻す

YouTube番組「よたかのじかん」開設！

今年度の夜高事業は、YouTube番組「よたかのじかん」を制作、配信します。

“伝統文化を継承し、夜高の燈を取り戻す”

子どもたちに「となみ夜高まつり」の魅力を感じてもらい、興味関心を持ってもらいたいと企画しました。

今年の夜高まつりは中止となりましたが、伝統を守っていく気概で制作していきます。ぜひご覧ください。

【YouTube番組「よたかのじかん」の内容】

●市内の小学生、中学生（一部）に夜高について気になること、知りたいことについてアンケートを実施します。その答えを地域の夜高関係者が答えていきます。

●夜高（吊りもの）が出来るまでを毎月の配信を通して紹介していきます。（番外編）※1回10分程度、全10回の放送です。

【YouTube番組配信日】

第1回目：6月12日（土）20時

第2回目：6月26日（土）※番外編

第3回目：7月10日（土）

以降、毎月第2土曜日に配信予定です。

ニューチャレンジ総務委員長 熊野皓太



砺波 YEG
YouTube チャンネル



夜高マスコット
ヨタキチくん

富山県商工会議所青年部連合会 定時総会

富山県連「第45回定時総会」が5月29日（土）、クロスベイ新湊にてYouTubeライブ

配信と連動して開催されました。令和3年度会長に、射水YEGの南貴浩君が選出され、スローガン「激動時代へ変化には変化をもつて飛躍せよ！」YEG ambitionの下、新年度がスタートいたしました。

単会の沸くを超えて結束を高めていきたいと思っています。

記者 荒木 悠史



北陸信越ブロック商工会議所青年部連合会 定時総会

5月22日（土）北陸信越ブロック商工会議所青年部連合会、令和2年度第5回役員会、令和3年度第1回役員会、定時総会が開催されました。本来ならば今年度主管地である新潟県新潟市亀田の地で開催される予定でしたが蔓延防止対策とし全面オンライン開催となりました。なお、今回の総会では令和2年度活動報告、収支決算報告、昨年から議論していただいた規約改訂が滞りなく満場一致にて可決されました。

潟沼会長に振り返っていただきました。

振り返れば4年間の準備を経て事業計画が承認され4月から良いスタートが切れると思っていました。新型コロナウイルスの影響ですべての計画が大幅に延期、内容変更いたしました。その様な状況であってもNEVER GIVE UP！俺達は仲間！、みんなでやれば絶

ようこそ青年部へ！
新入会員紹介



氏名 成瀬 寛美
(なるせ ひろみ)

事業所名 キャッツアイ

所在地 砺波市表町 8-1

電話番号 0763-32-2688

砺波駅前でスナックを営んでおります。皆さま、お気軽にお越しください。少しでも青年部の活動に参加し、協力していきたいと思います。これからよろしく願いいたします。



対やれる！というスローガンのもと佐藤専務理事、石黒事務局長、事務局員、大谷君、朝倉君、江成君に支えられ主管地の担いを終える事ができました。
また、ブロックの最大事業であるブロック大会は収録開催となりましたが、富山県砺波市の地名、文化、人となりを全国に拡散する事ができ中西大会会長をはじめとする砺波 YEGメンバーの皆さんのおかげで無事終了する事ができました。
目的や目標を達成する為に、若さゆえに行き過ぎた行動もあったかもしれませんが、ギリギリまで粘る事、どの様な状況であっても、やり方を変えれば何でも出来る事、仲間と共に考えて実践して結果を出す事を学びました。

令和2年度で経験させて頂いた事は速攻性はありませんが、今後の砺波 YEG の発展、地域の発展そして自社の発展に必ず活かされたいと思います。
親会である商工会議所会員の皆様、行政、地域の皆様には多大なるご協力をして頂き心より感謝申し上げます。

連載

青年部会員紹介！

日々頑張っている、あこんこの
アンちゃん、ネエちゃん姉波で
こんな活躍しています！

「ご縁を大切に」

久保田晃克（副会長）

事業所 リアールプランニング株式会社

『リアールプランニング株式会社』今回紹介させてもらいます、久保田晃克さんが代表を務める不動産会社である。

高校卒業後いくつかの職業を経験し、21歳の時に住宅メーカーへ就職。サラリーマンとして勤めながらも自分で事業を起こしたい、40歳までには独立開業しなくてはと、ずっと思っていたそうである。

38歳になり今が最後のチャンスと思い、栄町に事務所を構えスタートを切った。
開業当初は、後戻りはできない、やるしかないと思死だったそう。

開業から4年がたち、昨年10月に自社店舗を三島町へ移転する。

最近は青年部以外にも、いろいろな会へ積極的に出ている。「行く先々で勉強になっている。人との繋がりを大切にしたい、今後もいいご縁を求め続けていきたい。」と久保田さんは言う。

今回話を聞き、非常に前向きな考え方をされ、決して後ろを振り向かず前に進んでいる。このポジティブな人柄には多くの魅力を感じ、改めて出会えた事に感謝しました。



メモ

生年月日 S52・9・19

趣味 旅行・車・グルメ

最近の悩み 白髪が増えてきたこと

家族構成 妻・子供2人(大学2年、高校1年)

連載 青年部会員紹介！

日々頑張っている、あこんこの
アンちゃん、ネエちゃん砺波で
こんな活躍しています！

「挑戦」

佐藤 里依子（副会長）

事業所 Azure.

現在、6月中旬にリニユーアルオープンした「となみ野庄川荘」（旧 越中庄川荘）にて、7月からエステ事業を拡大しようと新たに挑戦している方が今回の記事の主役である佐藤里依子副会長である。

佐藤副会長は、1980年鷹栖で生まれ、高校卒業後にエステ関係の仕事に就いた。エステの仕事は、自分の裁量でお客様に向き合えるというところが、天職だと思った。しかしその中で、エステをするしない、商品を買う、買わないに関係なく、いつでも立ち寄ってお茶を飲みながらゆっくりしていただき、もっともっとお客様と向き合いたいと、支店として独立する。その後経験を積み、更なる想いを実現すべく起業し、現在では自宅でエステ、アロマ、マッサージ等を行っている。

現在エステ事業を拡大しようという本人からはワクワクが止まらないという言葉聞いた。準備に奔走されている姿はとても楽しそうであり、エステ以外にも人の集まるイベントを計画したいとも言われており、新たな挑戦先も見つけられたようだ。

佐藤副会長は、「事業をする上で成功はゴールでありスタートでもある。私は挑戦し続けたい。挑戦し続けた先に必ず成功があると信じているから。」と話してくれた。



メモ

生年月日 S55・5・31
中高の部活 バレーボール部
趣味 猫と遊ぶ、洗濯機の掃除
好きな食べ物 目玉焼き
家族構成 夫 子供3人（21歳、
高校1年生、小学校6年生）ねこ1匹



青年部だより

2021年
(令和3年)

8月号

全文は
こちらから



こちらも
ご覧ください！



FACEBOOK



TONAMIYEGSNS

6月度定例会

「自分の身体を知り健康になろう」

6月19日(土)太田体育館(砺波市太田939)にて「自分の身体を知り健康になろう」のテーマのもと、6月度定例会が行われました。

6月度定例会を企画されたスキルアップ委員会の五島委員長にお話を伺いました。6月度定例会では体力測定を行うことで今の健康状態を知ってもらい、その後健康状態を改善するための食事と運動の講習会を行いました。これは富田会長の所信にある「心身を鍛える」に沿って健康を意識するきっかけ作りを目的に行いました。体力測定は大人数が集まり運動するためにマスクを外すことになるなどコロナ下の通常のコロナ対策とは真逆のことをしてしまう場面がどうしても出てしまうため、生涯学習スポーツ課の先生方と、何度も相談してコロナ対策が万全になるように努めました。

また、時期もコロナの感染状況もどんどん悪化している状況だったため非常に判断が難しかったです。(全文のQRコードへ続く)

記者 塚田有志



夜高事業

夜高の魅力に触れよう教室



熊野委員長率いるニューチャレンジ総務委員会のメンバーが夜高の魅力伝えるべく市内のこども園、小学校合わせて計6か所を回り夜高の魅力に触れよう教室を行った。

(全文のQRコードへ続く)

記者 渋谷康佑

新入会員セミナー



近年、初の試みとなる新入会員セミナーが25日(金)砺波商工会議所で実施された。このセミナーはここ2、3年に入会した新しい会員が対象であり、「同期入会会士との交流のきっかけ作り」を目的とし(全文のQRコードへ続く)

記者 荒木悠史

連載 青年部会員紹介！

どんな人なのか知ってる？
日々頑張っている、あこんこのアンちゃん、ネエちゃん砺波でこんな活躍しています！

「やりぬくことを原点に」

五島 延真(委員長)
事業所… 株式会社つわ食品

ヴァローレ、ふたつわ食品、草の家など幅広く食品・飲食事業を手掛ける丸園商店に生まれ、幼い頃は、そのスーパーマーケットが遊び場だったという五島委員長。「目見てわかる、がっしりとした体格。何かスポーツはされていたのですか？」とお聞きすると、「バスケボールです。」と答えが返ってきた。(全文のQRコードへ続く)

記者 竹正恵祐

昭和60年6月10日生まれ
家族構成 妻・子供2人 (年長、年少)
好きな食べ物 お寿司・パスタ

「自分の気持ちに素直な商売」

菅野 源心(委員長)
事業所… 株式会社エスエス

(株)エスエスに入社して4年がたった菅野さんですが、どういう経緯で会社に入社したのかを伺いました。H33.3.1菅野さんは生まれ幼少期はバスケットを小学校4年生から大学まで長く続けました。高校は高岡西高校を卒業後、金沢大学経済学部に入学、卒業後公認会計士を志したそうです。(全文のQRコードへ続く)

記者 清登達朗

平成3年3月1日生まれ
出身学校 般若中学校、高岡西高校、金沢大学
趣味 キャンプ、レザークラフト
特技 バスケ
家族構成 妻(8月出産予定)
好きな食べ物 ラーメン、お寿司



青年部だより

8月号

6月度定例会

～自分の身体を知り健康になろう～

6月19日(土)に太田体育館(砺波市太田983)にて「自分の身体を知り健康になろう」のテーマのもと6月度定例会が行われました。6月度定例会を企画されたスキルアップ委員会の五島委員長にお話を伺いました6月度定例会では体力測定を行うことで今の健康状態を知ってもらい、その後健康状態を改善するための食事と運動の講習会を行いました。これは富田会長の所信にある「心身を鍛える」に沿って健康を意識するきっかけ作りを目的に行いました。体力測定は大人数が集まり運動するためにマスクを外すことになるなどコロナ下の通常のコロナ対策とは真逆のことをしてしまう場面がどうしても出てしまったため、生涯学習スポーツ課の先生方と何度も相談してコロナ対策が万全になるように努めました。また、時期もコロナの感染状況もどんどん悪化している状況だったため非常に判断が難しかったです。懇親会も予定はしていたのですが、コロナのステージ2ということもあり開催できなかったのは残念でした。終わってみて体力測定の結果を見て残念がっていた方もいましたが、皆さん楽しそうに体力測定にやっついて当初の目的である健康を意識するきっかけづくりを達成できたと感じました。

記者 塚田有志



夜高事業

夜高の魅力に触れよう教室

熊野委員長率いるニューチャレンジ総務委員会のメンバーが夜高の魅力を伝えるべく市内のこども園、小学校合わせて計6か所を回り夜高の魅力に触れよう教室を行った。コロナウイルス感染拡大を受け砺波伝統の祭りである夜高まつりは2年間に渡り開催ができなかった事をふまえ、子供たちに夜高まつりを忘れて欲しくないという気持ちを出張教室に向き伝えた。教室では夜高の制作過程を毬の模型を使い説明し、体験コーナーでは夜高太鼓を園児、児童と一緒にやった。教室の最後には夜高まつりの締めでもおなじみのシャンシャンの儀で全ての教室を締めくくった。熊野委員長は、この事業を通して少しでも地域の子供たちに影響が与えることができた。来年、夜高まつりに参加する子供たちが増えたらいいなと思うと語った。

記者 渋谷康佑



新入会員セミナー

近年、初の試みとなる新入会員セミナーが25日(金)砺波商工会議所で実施された。このセミナーはここ2、3年に入会した新しい会員が対象であり、「同期入会同士の交流のきっかけ作り」を目的とし、会員資質向上室のメンバーが中心となつて行われた。セミナーには12名の新入会員が参加し、互いの自己紹介や青年部の組織、活動目的などが説明された。参加した新入会員にとつて同期の仲間や青年部を知る良いきっかけとなった。

私も新入会員としてセミナーに参加したが、先輩方が自分の経験や青年部への熱い想いを語ったのが印象的で青年部活動により興味と関心が湧いた。また自己紹介を通して同期のメンバーの趣味や人柄を知ることができて良かった。

会員資質向上室の江成室長は、近年、新入会員の孤立が気になりなかなか馴染めない会員もいる中で、現役会員が交流のきっかけを作つてあげることが大事。同期のつながり、横のつながりを大事にしてほしいと新入会員セミナー企画の動機を語った。最後に、青年部を通していろんな経験や考え方を知つてほしい。そしてそれを自分のものにして会社や地域に貢献し、地域のリーダーになれるように成長してほしいと新入会員に向けエールを送った。

記者 荒木悠史



連載

どんな人ながか知つとるけ？

青年部会員紹介！

日々頑張っている、あこんこの
アンちゃん、ネエちゃん、砺波で
こんな活躍しています！

「やりぬくことを原点に」 五島 延貢（委員長）事業所 ㈱ふたつわ食品

ヴァローレ、ふたつわ食品、草の家など幅広く食品・飲食事業を手掛ける丸圓商店に生まれ、幼い頃は、そのスーパーマーケットが遊び場だったという五島委員長。一目見てわかる、がつしりとした体格。「何かスポーツはされていたのですか？」とお聞きすると、「バスケットボールです。」と答えが返ってきた。その競技歴は、出町小のバスケットボールチームに入学したことに始まり、出町中、高岡商業、そしていずれのチームでもスタメンで副キャプテンという本格的なものだ。また、出町中、高岡商業はともに県下でも毎年優勝を争う有数の強豪チームである。そのため、その練習量が相当なものであることは想像に難くない。そのような環境で、今の自分につながる多くのことを学ぶことができたとは当時のことを振り返ってくださった。中でも印象に残ったのが、中学最後の大会で目標としていた北信越大会出場に届かずに終わる、このままでは終わりがたくないという思いが、高岡商業への進学につながったということ。そして、高岡商業でも最後は全国大会大出場に届かずに終わったのだが、その時に感じたのは、中学時代と異なり、自身に対して最後までやりきったと充実感を感じることができたというものだ。その後、実家が飲食事業を手掛けていることもあり、大学4年生時には並行して専門学校にも通い、調理師免許を取得。卒業後は金沢の料理店にて、修行を積む。この修行期間、逃げ出したい気持ちになったとき、自身を支えてくれたのが、バスケットボールを通して得られた数々の学び、経験だったという。やりきったと感じるまでやりぬこう。そして、3年間の修行期間を経て、砺波に戻り、ふたつわ食品に入社。現在、ふたつわ食品では取締役という多忙な立場ながら、仕入から調理、盛付という上流から下流まで全ての工程に携わることを第一に心掛けている。どんなに忙しくても現場に立つことを最も大事にするのは、まず、お客様に届く商品に対して常に責任を持ったため、そして、50人の従業員と同じ時間を現場で共有するためということだった。五島委員長の語り口からは、あらためて、やりぬくことの大切さを感じさせられると同時に、歴史あるふたつわ食品がさらなる発展を続ける楽しみな未来も感じさせられた。

記者 竹正 恵祐



メモ

昭和60年6月10日生（36歳）

家族…奥様（出町中の同級生）

息子（年長）、娘（年少）

好きな食べ物…お寿司・パスタ

連載

どんな人なのか知つとるけ？ 青年部会員紹介！

日々頑張っている、あこんとこの
アンちゃん、ネエちゃん砺波で
こんな活躍しています！

「自分の気持に素直な商売」

菅野 源心(委員長)

事業所 ㈱エスエス

㈱エスエスに入社して4年がたった菅野さんですが、どういう経緯で会社に入り現在に至るかを伺いました。

H3・3・1菅野さんは生まれ幼少期はバスケットを小学校4年生から大学まで長くつづけました。高校は高岡西高校を卒業後、金沢大学経済学部に入學、卒業後公認会計士を志したそうです。しかし、資格をとることがなかなかできず断念し、家業である㈱エスエスに入社いたしました。幼少期には入社することを将来夢にも思っていなかったそうですが、そこで持前の素直さと一意専心の気持ちで仕事に励み非常に活躍しております。

会社では記念品やオリジナルグッズの作成を1つからでも対応し、また他社にて技術的、価格的に対応できないと言われたものもあらゆる方法を模索し対応することを心掛けています。そこには気持ちのいい商売がしたい、技術的にチャレンジしたいという金銭の授受以上に価値のある理念を感じました。現在新婚の菅野さんは今年8月に父親になる予定ということもあり、インタビューを終え菅野さんの今後益々の飛躍を確信いたしました。

記者 清登 達朗



メモ

生年月日 H3・3・1

出身学校 般若中学校、高岡西高校、金沢大学

趣味 キャンプ、レザークラフト

特技 バスケ

好きな食べ物 ラーメン、お寿司

家族構成 妻



青年部だより

2021年
(令和3年)

9月号

全文は
こちらから



こちらも
ご覧ください！



FACEBOOK



TONAMIYEGSNS

砺波商工会議所青年部 加入について

日頃より当青年部へのご理解とご協力を頂き、ありがとうございます。さて、当青年部は砺波商工会議所会員事業所の45歳までの若手経営者や従業員で組織している砺波市の商工業の発展を目的にした団体です。

当会での活動は砺波商工会議所主催イベントへの協力や各委員会と独自に企画運営する例会・事業があります。この活動を通して、異業種の若手経営者候補や事業所幹部候補が青年期でしかない研鑽・交流を致します。

活動内容の例といたしましては、主催事業 オープン例会、共催事業 と な み ら い アート 2021、事業協力、やぐら大祭出店・ふれあい市出店・JA農業祭出店などがあります。近年では、会員間のコミュニケーションや新たなビジネスマッチングも生まれ、会員同士の繋がりがや絆も深まっています。入会される方の目的は様々ですが、青年部では1人でも多くの若手経営者や事業所幹部・候補者の方に入会していただきたいです。

青年部の活動にご興味のある方は、お気軽に砺波商工会議所青年部事務局金田までお問い合わせください。追って当委員会よりご連絡を差し上げます。いつでも新規入会の受付をしています。多くの皆さまからのご連絡をお待ちしています。



絆委員会委員長 石黒大輔

富山県商工会議所青年部連合会親睦事業

去る、7月11日(日)に黒部市石田農林漁業体験実習館にて富山県商工会議所青年部連合会の会員親睦交流会事業がコロナウィルス感染症対策を徹底した上で開催されました。当日の様子、成果を澤田佳澄副委員長にお伺いしました。

本年度は『モルック』というスポーツを行いました。ソーシャルディスタンスも取りやすい為採用されたそうです。この交流をきっかけに多くの方と繋がりをもち、多くの情報を得やすい環境を整え、自企業の発展や青年部活動に活かして欲しいと澤田佳澄副委員長は語っておられました。

記者 清登達朗



YouTube番組 よたかのじかん 絶賛配信中！

今年度、砺波商工会議所青年部の夜高事業は伝統文化を継承し、子どもたちに夜高の魅力伝える興味・関心を持つてもらいたいと活動しています。6月12日より、子ども向けのYouTube番組「よたかのじかん」を配信しています。子どもたちにアンケートを行い、夜高について気になること知りたいことを地域の夜高関係者が答えていく内容で、YouTubeを通して夜高を継承していきたいと思っています。(全文のQRコードへ続く)

記者 熊野皓太

第3回目も
お子様と一緒に見てくださいね！



「絆を大切に。」

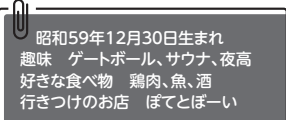
石黒大輔(絆委員会委員長)
事業所…石黒キコーナ

親しみやすく、気さくな対応でお客様との絆を大事にしたい。そう思いを語るのは、今年度絆委員会の委員長も務める、石黒キコーナ一の石黒大輔さんである。庄川町は青島で生まれ育ち、中学、高校、専門学校へと進路を進める。

その後、おじいさんがやっていた鍵師の職に就く。学生時代は吹奏楽部でチューバを吹いていたという。

(全文のQRコードへ続く)

記者 荒木悠史

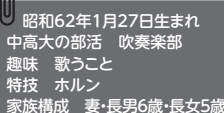


「恩返しを胸に」

熊野皓太(NC総務委員会委員長)
事業所…向くまの洗濯堂

砺波の老舗クリーニング店「くまの洗濯堂」。インバクトのあるロゴを目にする方も多いのではないだろうか。今回はくまの洗濯堂3代目、くまの音楽堂としても活躍しているニューチャレンジ総務委員会委員長、熊野皓太君にインタビューを行った。保育園の頃から歌うことが大好きで活発、反面落ち着きがなくケガが絶えない子供時代を過ごしたと本人は語る。(全文のQRコードへ続く)

記者 渋谷康佑



連載 青年部会員紹介！

どんな人なのか知ってる？
日々頑張っている、あこんこのアンちゃん、
ネエちゃん砺波でこんな活躍しています！



青年部だより

9月号

砺波商工会議所青年部 加入について

日頃より当青年部へのご理解とご協力を頂き、ありがとうございます。

さて、当青年部は砺波商工会議所会員事業所の45歳までの若手経営者や従業員で組織している砺波市の商工業の発展を目的にした団体です。当会での活動は砺波商工会議所主催イベントへの協力や各委員会で独自に企画運営する例会・事業があります。この活動を通して、異業種の若手経営者候補や事業所幹部候補が青年期でしかない研鑽・交流を致します。

活動内容の例としては、主催事業・オープン例会、共催事業・とらみらいアート2021、事業協力・やぐら大祭出店・ふれあい市出店・JA農業祭出店などがあります。近年では、会員間のコミュニケーションや新たなビジネスマッチングも生まれ、会員同士の繋がりや絆も深まっています。

入会される方の目的は様々ですが、青年部では1人でも多くの若手経営者や事業所幹部・候補者の方に入会していただきたいです。

青年部の活動にご興味のある方は、お気軽に砺波商工会議所青年部事務局金田までお問い合わせください。追って当委員会よりご連絡を差し上げます。いつでも新規入会の受付をしています。多くの皆さまからのご連絡をお待ちしています。

絆委員会委員長 石黒大輔



【お問合せ先】

砺波商工会議所青年部事務局 金田
TEL 0763(33)2109

富山県商工会議所青年部連合会親睦事業

去る、7月11日(日)に黒部市石田農林漁業体験実習館 屋内グラウンドにて富山県商工会議所青年部連合会の会員親睦交流会事業が開催されました。この事業は富山県商工会議所青年部連合会の会員親睦委員会が執り行っており、同委員会に砺波商工会議所から出向され、副委員長も務めておられる澤田佳澄副委員長に当日の様子、成果をお伺いしました。

本年度の事業の交流手段として実施したのはフィンランド発祥の『モルック』というスポーツです。計算しチームで戦略を考えながら身体も動かす事ができる事、年齢、運動神経にあまり依存せずできるという事、またコロナ禍におけるソーシャルディスタンスも取りやすい為採用されたそうです。

当日、チームは各単会が分かれるようにチーム編成が成されました。また各単会の会長が各チームリーダーとなるよう各会長にも分かれて頂きました。

砺波商工会議所青年部会員も各々のチームで活躍をされ、その中でも砺波商工会議所青年部の会長である富田会長はチームリーダーとして大活躍をされチームは2位でした。事業は大変な盛り上がりを見せ、チームの団結力が強まり、初対面の他単会の会員との交流が深まっていたという様子が伺えたそうです。またそれぞれの単会で担当している事業、地域、商工会議所青年部の運営について情報交換がなされていました。

この交流をきっかけに多くの方と繋がりをもち、多くの情報を得やすい環境を整え、自企業の発展や青年部活動に活かして欲しいと澤田佳澄副委員長は語っておられました。

この時節でこそ得られる情報、好機を掴む事ができる手段を増やす事ができる大変すばらしい事業だったと筆者は感じました。

記者 清登 達朗



YouTube番組

よたかのじかん 絶賛配信中！

YouTube 番組 よたかのじかん 絶賛配信中！

今年度、砺波商工会議所青年部の夜高事業は伝統文化を継承し、子どもたちに夜高の魅力を伝え興味・関心を持ってもらいたいと活動しています。

6月12日より、子ども向けのYouTube番組「よたかのじかん」を配信しています。

子どもたちにアンケートを行い、夜高について気になること知りたいことを地域の夜高関係者が答えていく内容で、YouTubeを通して夜高を継承していきたいと思っています。

6月に市内のこども園、小学校にて行いました「夜高の魅力に触れよう教室」で子どもたちに告知したこともあり、初回の番組は視聴回数も伸びすことができました。

今後2月まで配信していく予定で、Q & Aを通して子どもたちに夜高の魅力を伝え、来年こそは夜高の灯を取り戻そうと開催気運を高めていけるように努めていきます。

記者 熊野 皓太

第1回目配信(6月12日)

第3回目(8月14日)
も
お子様と一緒に見て
くださいね！



第2回目配信(7月10日)



連載

青年部会員紹介！

日々頑張っている、あこんこの
アンちゃん、ネエちゃん姉波で
こんな活躍しています！

「絆を大切に。」

石黒 大輔（絆委員会委員長）
事業所 石黒キョーコーナー

親しみやすく、気さくな対応でお客様との絆を大事にしたい。そう思いを語るのは、今年度絆委員会の委員長も務める、石黒キョーコーナーの石黒大輔さんである。庄川町は青島で生まれ育ち、中学、高校、専門学校へと進路を進める。その後、おじいさんがやっていた鍵師の職に就く。学生時代は吹奏楽部でチューバを吹いていたという。

仕事をしている上で大切にしていることはあるかと尋ねると、一歩間違えると泥棒になってしまう。信用あつての仕事なので親しみやすさを大事にしている。また、直せるものはしっかり修理して直し、使えるものは長く使うようにしていると話した。

実は私も青年部に入る前、一度鍵を開けてもらったことがある。電話するとすぐに駆けつけてくれ、一瞬で鍵は開いた。あのスピードと対応力が信用に繋がっているのだと思った。

今年度は絆委員長も務める石黒さん。今年は5名の方が卒業される予定、相談できる先輩方が卒業されるのは寂しいが感謝の気持ちをしっかりと伝えたと共に、新たな会員拡大もしていきたいと話した。

最後に、今後の夢はあるかと尋ねると「皓太（くまの洗濯堂）とアンサンプルコンテストに出たい！」と笑顔で語った。

記者 荒木 悠史



メモ

趣味

ゲートボール

サウナ

夜高

好きな食べ物

鶏肉 魚 酒

行きつけのお店

ぽてとぽーい

連載 青年部会員紹介！

日々頑張っている、あこんこの
アソちゃん、ネエちゃん砺波で
こんな活躍しています！

「恩返しを胸に」

熊野 皓太（NC総務委員会委員長）
事業所 ㈲くまの洗濯堂

砺波の老舗クリーニング店「くまの洗濯堂」。インパクトのあるロゴを目にする方も多いのではないだろうか。今回はくまの洗濯堂3代目、くまの音楽堂としても活躍しているニューチャレンジ総務委員会委員長、熊野皓太君にインタビューを行った。

保育園の頃から歌うことが大好きで活発、反面落ち着きがなくケガが絶えない子供時代を過ごしたと本人は語る。

小学校入学を機にラグビーを始め、音楽にも興味があつた為管楽器クラブにも所属、アルトホルンを担当していたそうだ。

中学校入学時、ラグビー部が無かつた為吹奏楽部に入部、中学校3年時には生徒会長に立候補し生徒会長に就任、出町中学校で初めて生徒会新聞を作成した生徒会長だと当時を懐かしんだ。高校は強豪校で吹奏楽がやりたくて高岡商業に進学、3年時には吹奏楽部の部長に就任する事になる。「高校時代が一番厳しかった。当時はなぜこんな厳しいのか分からなかつたが社会に出てから非常に為になっている。部訓である挨拶の励行・掃除の徹底・時間厳守 未だに自分の指針になっている」と話してくれた。

高校卒業後もマーチングを続ける為に大学を探していた彼の目に留まつたパンフレットに書かれていた「北の大地でマーチングを！アメリカの先生が指導！部員60名！」この謳い文句に誘われ北海道の大学へ進学する事になるのだが、現実に入學してみたら部員6名、アメリカの先生は母国へ

帰国。マーチングどころでは無い悲惨な状態。

慣れない土地、冬はマイナス20度、思い描いたマーチングはユメマボロシ。孤独で辛くて晴れた日には海ばかり見ていた。今だから笑えるが詐欺にあつたと当時を振り返えた。

大学4年時に家業を継ぐことを考え始め、卒業と同時に札幌市内のクリーニング店で修業を始める。慣れない仕事、人間関係、とても辛い時期もあつたようだ。どうして急に継ぐことを決めたのか尋ねた所、とてもシンプルな答えが返ってきた。「長男だから」



札幌で2年修業した後、さらなる学びを求め

滋賀県へ修業に赴き、家業の売りにできるよう染み抜き技術をみっちり学んだ。25歳で砺波に帰郷、くまの洗濯堂へ入社する事となる。

活発だった10代、孤独だった大学時代、挫折を味わった札幌時代。過去があるから今がある。精神的に辛い時期、帰省すると声をかけてくれた地元の方や先輩、後輩。

「地元には根差し、お世話になった地元で恩返しをしたい」

一生懸命仕事をし、イベントでも一生懸命に歌を歌う。地元砺波への恩返しを胸に。

記者 渋谷 康佑

メモ

家族構成 妻・長男6歳・長女5歳

趣味 歌うこと

特技 ホルン

YEG 青年部だより

2021年
(令和3年)

10月号

全文は
こちらから



こちらから
ご覧ください！



FACEBOOK



TONAMIYEGSNS

新入会員歓迎会オンライン開催

8月23日(月)に「新入会員と現役会員の間で、仲間づくりのきっかけにしたい」という目標のもとZOOMによるオンラインでの新入会員歓迎会が開催されました。

新入会員歓迎会の事業を担当された石黒委員長にお話を聞きました。この事業をやるにあたって当初は面と向かってやることしか考えていなかったそうです。しかし、コロナ禍の状況が収まる兆しが見えないこともあり、これ以上延期はできないと考えZOOMでのオンライン開催を判断したそうです。



新入会員歓迎会は最初に新入会員1人と現役会員3、4人のグループを作り、現役会員の方が質問し、新入会員が回答するというインタビュー形式で行われました。その後、グループ内での質疑応答のまとめを新入会員が参加者全員の前で発表を行いました。(全文のQRコードへ続く)

記者 塚田 有志

他単会ZOOM交流会



7月23日(金)、砺波YEG初の試みとして他単会ZOOM交流会が行われました。コロナ禍で県外に出向くことができないが、「こんなときだからこそ」「青年部活動は止めない」という前向きな発想でスタートしました。第1回の交流会は千葉県連茂原YEGです。女性会員が大変多い単会ということで、今回は砺波YEGからも女性会員メインでZOOM交流を行いました。(全文のQRコードへ続く)

記者 熊野 皓太

YouTube番組

よたかのじかん 協賛金のお願い



今年度の夜高事業は次世代へ伝統文化を継承していく事業として「YouTube番組よたかのじかん」の配信を行っております。子ども達に「となみ夜高まつり」の魅力を感じてもらい、興味・関心また愛する心を持つてもらいたいと考え、夜高の燈を取り戻そうと開催気運を盛り上げるべく進めております。これまで3回の配信をいたしましたがおかげさまで子ども達を中心とした多くの皆様に見ていただき、「楽しかった」「来年こそやりたい」などの声が寄せられております。今後も配信していく上で、各企業の皆様からご支援を賜いますが、この趣旨にご賛同いただき、是非ともご協賛を賜りますようお願い申し上げます。協賛金額は二口千円となっております。協賛いただいた企業につきましてはYouTube番組内で企業名を公開させていただきます。また、二口以上いただきました場合、企業名の前に企業PR文を掲載させていただきます。重ねてよりしくお願い申し上げます。

申込書は
全文版へ



連載 青年部会員紹介！

どんな人なかが知ってる？
日々頑張っている、あこんこのアンちゃん、ネエちゃん砺波でこんな活躍しています！

「自分の道を歩む」

辻 昌裕(会員親睦向上室 室長)
事業所…作庭辻

今回「作庭 辻」代表で、会員親睦向上室、室長の辻昌裕さんにインタビューさせていただきました。卒業後、射水市の造園会社で約7年間経験を積み、起業して今年で10年目を迎えます。起業してからの10年を振り返り「大変だったけど」と一言、辻さんは笑顔で答えてくれました。(全文のQRコードへ続く)

記者 有澤 健吾

「己を信じて」

江成 剛(会員資質向上室 室長)
事業所…(株)アークエナリー

砺波市東保に事業所を構える「株式会社アークエナリー」。今回はアークエナリー代表で砺波の東京03とも言われる会員資質向上室、江成剛室長にインタビューを行いました。「車をいじるのが昔から好きでした」と語る江成室長は、高校卒業後地元の大手カー用品店に就職されます。車が好きですぐに働きたい思いがありましたが、親からは「家の仕事はやらんでいい、外のメシを食ってこい」と言われたそうです。(全文のQRコードへ続く)

記者 熊野 皓太

昭和52年1月10日生まれ
好きな食べ物 アボガド(単品で食べる)
趣味 機械いじり
休日の過ごし方 子供と遊ぶ・ドライブ

昭和58年10月18日生まれ
モットー 頼まれ事は受ける様にする
趣味 ゴルフ・麻雀・ネットサーフィン
好きな食べ物 野菜以外はなんでも
休日の過ごし方 家族と外出・プロレス動画鑑賞

YEG 青年部だより 10月号

新入会員歓迎会オンライン開催

8月23日(月)に「新入会員と現役会員の間で、仲間づくりのきっかけにしたい」という目標のもとZOOMによるオンラインでの新入会員歓迎会が開催されました。この事業はコロナ禍の影響あり、当初予定していた日を2回延期を行うという厳しい状況を経て行われました。

新入会員歓迎会の事業を担当された石黒委員長にお話を聞きました。

この事業をやるにあたって当初は面と向かってやることしか考えていなかった。しかし、コロナ禍の状況が収まる兆しが見えないこともあり、これ以上延期はできないと考えZOOMでのオンライン開催を決断したそうです。

新入会員歓迎会は最初に新入会員1人と現役会員3、4人のグループを作り、現役会員の方が質問し、新入会員が回答するというインタビュー形式行いました。次にグループ内での質疑応答のまとめを新入会員が新入会員歓迎会参加者全員の前で発表を行いました。最初のグループ分けは少人数で長めの時間をとることで質問ばかりではなく雑談も交えて一人一人の発言頻度を上げる狙いがありました。反応を見る限り狙い通りになったと手ごたえを感じているそうです。

この事業が成功したか失敗したかは賛否はあるにしろ委員会で行えることはやり切ったし、終わってみればやってよかったといえる結果になった。多くの参加していただいた方々がありがとうございましたと感謝を語っておられました。

記者 塚田 有志



他単会ZOOM交流会

7月23日、砺波YEG初の試みとして他単会ZOOM交流会が行われた。コロナ禍で県外に出向くことができないが、「こんなときだからこそ」「青年部活動は止めない」という前向きな発想でスタートした。

第一回の交流会は千葉県連茂原YEG。女性会員が大変多い単会ということで、今回は砺波YEGからも女性会員メインでZOOM交流を行った。

富田会長は「砺波の中だけでは知ることの出来ない情報を得ることができる。全然違う環境の会員と交流することで何かヒントになることがあるのではないか」と語る。

今後は砺波YEGと友好提携を結んでいる愛知県連安城YEGと、また同じ北陸信越 Brooksの単会である長野県連松本YEGと交流会を行う予定だ。

「いろんな事業のことを聞けるチャンス。それを単会、また自社にそれぞれ生かしていければ」と想いを馳せる富田会長。

新しい試みを通して、出会い、つながりが生まれ、業種によってはビジネスに結びつくかもしれない。今だからこそできる活動を大切に、今後も取り組んでいく。記者 熊野皓太



今年度の夜高事業は次世代へ伝統文化を継承していく事業として「YouTube番組よたかのじかん」の配信を行っております。子どもたちに「となみ夜高まつり」の魅力を感じてもらい、興味・関心また愛する心を持つてもらいたいと考え、夜高の燈をとりもどそうと開催気運を盛り上げるべく進めております。これまで3回の配信をいたしましたがおかげさまで子どもたちを中心とした多くの皆様に観ていただき、「楽しかった」「来年こそやりたい」などの声が寄せられております。

今後も配信していく上で、各企業の皆様からご支援を賜り、伝統文化の継承をしていきたいと考えております。誠に恐縮ではございますが、この趣旨にご賛同いただき、是非ともご協賛を賜りますようお願い申し上げます。

協賛金額は一口1000円となっております。協賛いただいた企業につきましてはYouTube番組内で企業名をご披露させていただきます。また、二口以上いただきました場合、企業名の前に企業ロゴ文を掲載させていただきます。

重ねてよろしくお願い申し上げます。

ニューチャレンジ総務委員長 熊野皓太

☆申込書は一番下のページへ



連載

青年部会員紹介！

日々頑張っている、あこんこの
アンちゃん、ネエちゃん、砺波で
こんな活躍しています！

「自分の道を歩む」

辻 昌裕 （会員親睦向上室 室長）

事業所 作庭 辻

今回「作庭 辻」代表で、会員親睦向上室、室長の辻昌裕さんにインタビューさせていただきました。

学校卒業後、射水市の造園会社で約7年間経験を積み、起業して今年で10年目を迎える。起業してからの10年を振り返り「大変やったちゃ！」と一言、辻さんは笑顔で答えてくれた。

起業して間もない頃は、街路樹などの剪定作業をする単調な日々が続き、自分はこのままでもいいのかと毎日自問自答し悩んでいたそうだ。

そんな中、自らを大きく変えたきっかけが「砺波YEG」だ。YEGには様々な業種や年齢、経験を持った仲間がいる。YEGの仲間と共に活動をする中で知らず知らずのうちに刺激を受け、チャレンジし続ける姿勢が自然と身についていった。

そして、自然と仕事にも活かすことができた。時代の流れとお客様のニーズに合わせて、エクステリア（外構工事）分野にも自然と進み出ることができたようだ。

現在は、持ち前の明るさとバイタリティを活かし、県内外問わず多くのお客様と関係を深めており、活躍の場を更に広げているという。

仕事をする上で、大切にしていることは何かと聞くと、お客様が日々目にし、楽しみ・癒される空間を造る仕事。自分のエゴはなるべく出さず、お客様が求める要望に一つ一つ答えていくことが大切だと話した。

今後の目標を尋ねると「もっと外へ出向き飛躍し、いずれは海外での仕事もチャレンジしてみたい。そして、海外生活してみたいな」と熱く目標を語ってくれた。



メモ

記者 有澤健吾

生年月日 S58・10・18

モットー 頼まれた事は受けるようにする

趣味 ゴルフ・麻雀・ネットサーフィン

好きな食べ物 野菜以外はなんでも

休暇の過ごし方 家族と外出

プロレス動画鑑賞

連載

青年部会員紹介！

日々頑張っている、あーんと」の
アンちゃん、ネエちゃん、砥波で
こんな活躍しています！

「己を信じて」 江成 剛（会員資質向上室 室長） 事業所（株）アークエナリー

砺波市東保に事業所を構える「株式会社アークエナリー」今回はアークエナリー代表で砺波の東京03とも言われる会員資質向上室、江成剛室長にインタビューを行った。「車をいじるのが昔から好きでした」そう語る江成室長は、高校卒業後地元の大手カー用品店に就職する。車が好きですぐに働きたい思いがあった。親からは「家の仕事はやらんでいい、外のメシを食ってこい」と言われた。初めての面接ではどんな車が好きかと問われ、熱く語っていたと本人は懐かしむ。車への情熱が伝わり、車の整備や修理の仕事を任されるようになる。また、19歳の若さで仕入価格や販売価格などお金の流れを勉強、ポップの展示のひとつにまでこだわるなど、店になくはない存在になっていった。夜遅くまでがむしやらに仕事をしていたと当時を振り返った。就職して3年、朝少しでも寝ていたい…家の横に会社がある…深く考えず、アークエナリーに入社。車販売では何十万、何百万円の単価の世界に居た。アークエナリーでは顧客単価は何百円だ。どうやって利益を出そう。まずこのギャップに驚いたという。一発で高額を売上げる仕事と違い、レンタル業は何百円をコツコツ積み重ね売り上げにしていく。レンタルが続く限り客との関係も続いていく、魅力の商売だ。レンタルのほか「トイレクリーンサービス」も行っている。パツと目に入る汚れは誰でもきれいにできる。しかしアークエナリーのトイレ掃除はただの掃除ではない。「目に見えない部分をやること、それがプロの仕事だと思う。」そう語った。「気が済むまで徹底的に仕上げるんです。例えば家の模様替えをしたら夜中まで止まらない。やっぱりA型ですね。」と照れくさそうに笑っていた。最後に座右の銘を聞いた。座右の銘はないが、父から伝わる信念がある。アークエナリーには神棚がない。何か大変なことがあっても「神頼み」はしない。どれだけ苦難、逆境があっても最後は「自分」。人に頼る前に自分で動く。その信念を胸に今日も客の下へ向かった。

記者 熊野皓太



メモ

生年月日 S52・1・10

好きな食べ物 アボガド（単品でたべる）

趣味 機械いじり

休日の過ごし方 子供と遊ぶ・ドライブ